

学校長挨拶

本校は、令和3年4月に開校した、群馬県で初めてとなる施設一体型の義務教育学校でございます。3年5ヶ月の準備期間を経て、今年度の開校を迎えることができました。

皆様、どうぞ、よろしくお願いたします。

これから、太田市立北の杜学園の特色ある教育活動についてご紹介します。

まず、特色ある教育活動について、基本的な考え方が二つございます。

一つ目は、「多くの教職員の目で、児童生徒の個性を見抜き、伸ばす」ということです。北の杜学園では、総勢78名教職員が配置されております。担任一人にクラスを任せるのではなく、学年やステージの複数の先生方で、児童生徒一人一人を見守り、支援、指導していくことで、児童生徒がもつ個性を伸ばしていけると考えております。

二つ目は、「多くの人とのふれあいを通して、人間関係力や社会性を身に付けさせる。」ということです。北の杜学園では、1年生から9年生まで、781名の児童生徒が一つの学び舎の中で生活します。縦割り活動や異年齢交流を意図的、計画的に実施し、児童生徒がふれあいを通して、人間関係力や社会性を身に付けることができるようにしていきます。

この二つの基本的な考え方を基に、以下の特色ある教育活動を展開していきます。

特色ある教育活動の一つ目は「四つのステージ」です。他県の義務教育学校では、4・3・2の区切りが一般的です。北の杜学園は、2・2・3・2とし、1～4年生を一つのくくりとせず、1・2年生、3・4年生とステージを分けました。これは、各ステージの児童生徒を当該ステージの先生方が積極的に関わりを持ちながら、できるだけ一人一人の子どもたちに目が届くように1～4年を二つに分けました。ステージ単位での活動において、より多くの子どもたちの活躍の場を設定していくことにより、リーダーシップとフォロワーシップを身に付けていくことができます。

特色のある教育活動の二つ目は、ステージⅢの「5学年からの教科担任制」を取り入れていきます。小学校高学年の学習において、問題が難しくなり、学力差が開き始めていくという課題があります。小学校の教員は「全教科」を教えられる免許状を持っていますが、教員によって、教科の得意・不得意がございます。そこで、中学校の教員のように、教科の専門的内容の免許を持った教員が教える「教科担任制」を取り入れることで、児童の学習への理解度と定着度の向上を図ることができると考えております。

特色のある教育活動の三つ目は、多くの人とふれあう、「異年齢による交流の機会」を意図的、計画的にとり入れていきます。異年齢による活動を通して、上級生は下級生に思いやる心を、下級生は上級生に憧れの気持ちをもつことができ、人間関係力や社会性を向上させていくことができます。

これから、児童生徒・教職員で、地域で誇れる学校、居場所のある、居心地のよい学校を目指します。保護者の皆様、地域の皆様、温かいご支援とご協力のほど、よろしくお願申し上げます。

おわりに、本校の開校に向けて、太田市教育委員会の皆様をはじめ、区長会の皆様、視察させていただいた県外の先進校など、多くの方々の御支援と御協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

太田市立北の杜学園 校長 栗原 信義